

VENTURE TSUSHIN

ベンチャー通信

2016 June

「ベンチャー通信」公式ホームページ <http://www.v-tsushin.jp/>

起業するのも大変 継続するのはもっと大変

64

U-NEXT

代表取締役社長

USEN

取締役会長

宇野 康秀

ベンチャーを飛躍させる
エンジンを解剖する

企業の成長力



自ら生産工場を保有し、厳選素材にこだわりぬいた化粧品の研究・企画・開発・製造・販売を一手に手がけるICE。近年のメイドインジャパンブームに乗って、設立以来この5年間は年率30%に迫る成長を続けている。同社代表の阪本氏に、事業戦略や今後のビジョンを聞いた。

卓越した企画力を武器に「メイド・イン・ジャパン」の波に乗る

大手の化粧品メーカーでは10年勤務してもできない経験

――事業内容を教えてください。

ふたつの事業を展開しています。ひとつは化粧品事業。北海道に自社工場を保有し、OEMとともに自社ブランド製品を製造しています。もうひとつは、リゾート施設に特化したアロマサロン事業です。「北海道の化粧品メーカーによる直営」というブランド力を武器に、現在26店舗まで拡大しています。

――美容事業を手がけた経緯はなんですか。

かつて商社勤務時代に化粧品事業とエステサロン事業を立ち上げた経験があり、同事業の知見がありました。偶然にも、その後転身した経営コンサルタンツ時代に、アロマサロン事業の再生に携わることになり、個人として買収を判断。ICEを立ち上げたのです。

その後、東日本大震災の混乱でいきなりの倒産危機のなか、化粧品工場を買収する機会に直面。大胆にも買収を判断し、化粧品事業にも参入したのです。

――工場を保有し、製造まで手がける化粧品ベンチャーは珍しいですね。確かにそうですね。ただ、その工

場には26年間OEMを展開してきたノウハウ、数万社のレシビという資産がありましたので、勝算は感じていました。

しかも、北海道には地元の事業者しか入手できない希少な天然素材があります。こうした素材を使用した製品開発で差別化を図れています。なによりも製造工程はすべて北海道でおこない、全スタッフが北海道民という態勢で「安心」を製造しています。

――この事業の魅力はなんですか。

当社には商品企画し、お客さまに提案する楽しさがあります。商品コンセプトや原料はもとより、容器や包装材料一つひとつからすべて企画することができ、大手の化粧品メーカーでは10年勤務してもこのような経験はできないでしょうね。

当社では、埼玉西武ライオンズや北海道コンサドーレ札幌のオフィシャル商品、芸能人やアニメ・ゲームキャラとのコラボ企画商品などを世に送り出しています。自分が立ち上げたブランド、商品が市場に流通した瞬間はうれしいですよ。

――成長ビジョンを聞かせてください。

近年のメイドインジャパンブームによって、国産化粧品に対するアジ



1974年、埼玉県生まれ。幼少期からサッカーに明け暮れ、プロを目指すも挫折。商社に入社し、10年間の勤務のなかで化粧品事業、エステサロン事業など女性向け事業を複数立ち上げ、成功に導く。その後、経営コンサルタントを経て、2010年に株式会社ICEを設立。2011年には北海道の化粧品製造工場を買収し、製造業にも乗り出す。

経営者データファイル

身長:174cm 体重:72kg 平均睡眠時間:2~3時間 平均起床時刻:午前7時 趣味:スポーツ・食育 今までに訪れた国:12カ国 座右の銘:たくさんありすぎるので、電子書籍で出版予定 購読雑誌:ビジネス誌、ファッション誌、情報誌 尊敬する人:プロアスリート全般、高田純次 好きな食べ物:ご飯がすすむもので腹にたまる系 嫌いな食べ物:子どもが嫌いなものは大体好まない...

※OEM:他社のオリジナルブランドの製品を企画・提案・製造すること